

fuku!soba

ソバ栽培情報2021

No.3

JA福井県【福井基幹支店】

ハスモンヨトウの多発生に注意!!

ハスモンヨトウは西南暖地から飛来する害虫で、幼虫が多くの農作物を集団で加害し、大きな被害をもたらします。今後、幼虫による被害が多発する恐れがありますので、防除を徹底しましょう。

発生状況

農業試験場のフェロモントラップにおける成虫捕獲数は、7月以降増加しており、8月中旬に発生ピークを迎えています。また、台風や前線の通過で、飛来量が増加し、幼虫による加害が9月以降に多くなると予想されますので、発生状況を確認して、速やかに防除しましょう。

1. ヨトウムシ防除の徹底!!



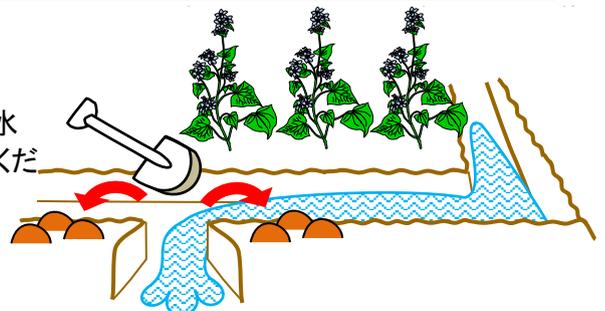
ハスモンヨトウは葉の裏に数百もの卵を数カ所に分けて産み付け、孵化した幼虫が大群で葉を加害します。幼虫が成長して老齢幼虫になると葉・茎などを幅広く加害して収量を低下させます。圃場を確認して、被害株(白変葉)が目立つようになったら早めに防除しましょう。

- ハスモンヨトウは、気温が高いと孵化して20日ほどで4齢幼虫まで成長して薬剤の効果が低くなります。若齢幼虫を見つけたら、早急に防除をしましょう。
- 分散前の初期断簡であれば、被害株を幼虫ごと圃場外に除去したり、被害株周辺に薬剤をスポット散布するだけでも効果があります。

防除時期	対象病虫害	薬剤名	10aあたりの使用量	使用時期	使用回数
発生初期～ (9月中～下旬)	ハスモンヨトウ	ロムダン粉剤DL	4kg	収穫21日前まで	2回以内
		ロムダンフロアブル	2000倍		
		ゼンターリ顆粒水和剤	100～300ℓ	収穫前日まで	—

2. 排水対策の継続

9月下旬となり、不安定な天候が予想されます。排水溝に水が滞っている場合は圃場内の明渠の手直しを必ず行ってください。今年は、一に排水、二に排水を心がけてください。



3. 帰化アサガオ対策

近年、帰化アサガオの発生が目立っています。帰化アサガオの種子はソバの実と色・形とも酷似しているため、取り除くことが難しい状況です。ソバの品質向上を図るため圃場での対策を行いましょう。

- 圃場内：帰化アサガオを圃場内で見つけた場合は実を着ける前に速やかに取り除く。
- 圃場周縁部(法面・畦畔部)：圃場に侵入しないように抜き取る。畦畔用の除草剤を散布する。
【帰化アサガオに効果が高い除草剤：バスタ液剤】

適正な圃場準備と播種作業で収量アップを目指しましょう。ソバ情報は『文殊支店』が担当しました。